

上伊那音楽教育研究会

# ハーモニー

## 第2号

令和6年9月4日

文責 飯島恭子



### 自由曲講習会が行われました！

本番が近づいてきた7月13日（土）14日（日）宮田村民会館にて、藤原規生先生による「自由曲講習会」が行われました。自由曲講習会ではそれまで課題曲と併せて練習してきた曲を、各校30分ずつご指導いただきました。藤原先生は各地の講習会の指導や審査員だけでなく、オペラの合唱指揮や大学等でも後進の指導にもあたられているとのこと。ご多忙の中お越しくださり、23校をご指導いただきました。それまで練習してもうまく表現できなかった箇所、子どもたちへの伝え方が難しかった部分等、「どこをどのように改善したら良くなるか」を、藤原先生はわかり易く的確にご指摘くださいました。

その表現もユーモアに富み、身体を動かしエネルギーに溢れていて、なるほど、ここが盲点だったのかと気づかされる事が多くありました。子どもたちは生き生きと反応し、楽しみながらも集中して学んでいました。また指揮者にも、ここは2拍子から4拍子に変えて振ってみたら等、曲想に合わせた方法をご指導くださいました。

学校に帰った後の練習では、自由曲講習会で教えていただいた事を振り返り、集中して練習することが出来ました。このような客観的に指導いただける機会は、子どもたちにとっては勿論、指導者にとってもたいへんありがたいと感じました。

### 第38回長野県学校合唱大会 南信Bブロック大会が開催されました！

（第91回NHK全国学校音楽コンクール）

向日葵が太陽に向かって力強く咲き誇る、7月30日（火）、31日（水）、駒ヶ根文化会館にて、「第38回長野県学校合唱大会 南信Bブロック大会」が開催されました。各校それまで練習してきた成果を、保護者の方々も見守る中大きなホールで発表しました。今年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄された日々も明け、マスクだけではなく舞台での立ち位置の制約もなくなりました。

ステージでは、緊張の中でやり直しの出来ない一度の演奏に注ぐエネルギーが、強く伝わってきました。各学校での「課題曲」の表現の違いが興味深いのは勿論のこと、様々な自由曲の演奏も素晴らしかったです。演奏だけではなく、舞台袖に、期待と不安の重なる緊張した面持ちで入っていく児童・生徒たちの表情。舞台から降りたあとの、興奮や達成感や様々な気持ちが混ざった表情。そんな姿を見ることは感慨深い瞬間です。

なんのために頑張るのだろう、と考えた時、練習の日々で仲間と共に多くの時間を共にし、舞台を経験する中で、コンクールの場も「賞」の色だけでなく得られるものが多いと感じています。長い積み重ねの日々は、子どもたちにとって楽しいだけでなく正直辛いときもあると思います。個人的には、そんな日々の中を通して「子どもたちのなかに残っていくもの」を想像しながら活動をしていきたいと考える良い機会となりました。

後日振り返りをした際には、自分達のことだけではなく、他校の演奏の良い所をたくさん見つけていました。「言葉がよく分かった」「高い声がきれいにそろっていた。」「すごくうまくて尊敬した。」「自分達とはまた違った個性あふれる演奏があり驚いた。」など素直に感動を表している子どもたちでした。

全体の講評は、審査員の先生より主に「発声」についてご指摘頂きました。美しい響きのためには「鼻腔共鳴」を意識することがいかに大切か。鼻と口が繋がっているイメージを持ち響かせること。大きな声を出そうと地声でかたく張ってしまうと、仮に音程が合っていたとしても、柔らかい響きとは溶け合わないとのことでした。良い響きのイメージを持ち、まずは！自分の出している声、他の人の声が聴けるということが必要になりますね。一朝一夕では出来ませんが、聴いている人の心に届く合唱を目指して、色々と試行錯誤していきたいと思います。

この大会にあたり、運営を進めて下さった先生方、各系の先生方本当にお疲れ様でした。

## 第38回長野県合唱大会 県大会が終了しました！

8月9日（金）10日（土）の2日間、長野県合唱大会が塩尻レザンホールにて開催されました。

県内の地区ブロック大会から選ばれた、小学校25校（合同参加含）、中学校18校が集まりました。県大会に進んだ各校の演奏は、全体の声が揃うだけでなく音楽づくりのレベルが高く聴きごたえがありました。また学校ごとに各々のカラーがあることを感じました。南信Bブロック大会を経て県大会に出場した学校（小学校5校、中学校3校）も素晴らしい演奏をされていました！猛暑の中、合唱と共に過ごした日々、本当にお疲れ様でした！

（写真は伊那市立東部中学校の皆さんです♪）



## 今年の夏季講習会は・・・

8月2日（金）教育芸術社による「カトカトーン」のオンライン研修が宮田小学校にて行われ、多くの先生方が参加されました。カトカトーンは教育芸術社による教育現場で活用できる音楽WEBアプリケーションとのことで、去年から音楽の創作などが

できる使いやすいアプリができる事を聞いていましたが触るのは初めてでした。オンラインで一つ一つアプリの使い方をご説明いただきながら、進めました。選択できる楽器の種類が幅広いこと、音符の打ち込みもし易いこと、画面も見易く配置されており操作自体も感覚的に行うことができました。一人で同時に演奏することのできない楽器やリズムを複数重ねてハーモニーを創ることもでき、学校での使用でも様々な用途で活躍しそうな楽しいアプリケーションでした。（ダウンロードをしなくても良いという点も便利ですね。）授業の中で、言葉やこれまでの方法では伝えにくい場面で使用する。また使い方によっては音楽会の練習の中などでも取り入れられそうです。



## 秋の音楽会に向けて・・・♪

虫の声も美しく秋の足音が聴こえてきました。10月に音楽会の学校ではよいよ練習が始まる頃かと思えます。やりがいと同時に忙しい日々、季節の変わり目でもありますのでどうかご自愛ください。